

「令和の時代の滋賀の高専」構想骨子（素案）概要①（ひとつづくりとしての学びの方向性） 1

- 新高専を軸に、**人材育成→地域への技術実装→技術への関心・憧れ**、という好循環の創出に挑む
- **情報技術＊各産業分野**に通ずる学びに加え、多様な学びの機会を提供し、実践力も育む
- **1学科4コース制**で、1年次は混成学級、2年次からコース選択という学びの体系

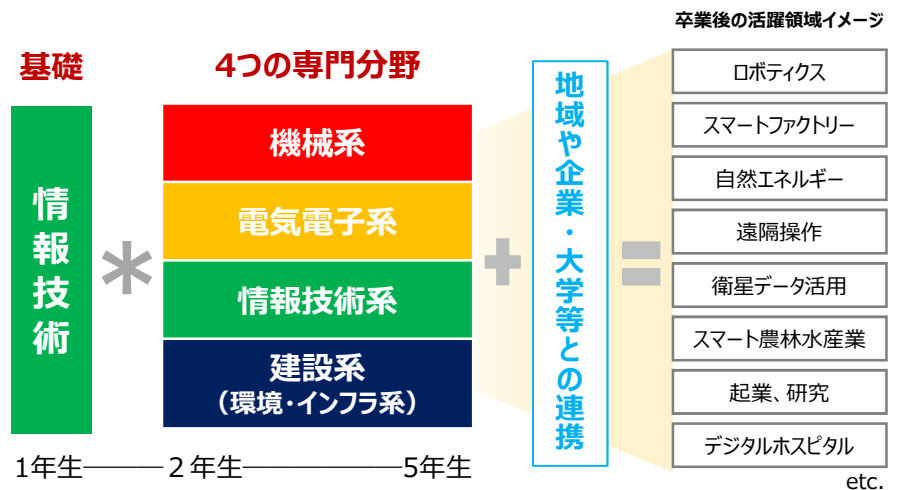
◆新高専の設置意図

目指す学校像

すべての人と地球を支え続ける技術を磨く学校



◆学びの専門分野（工学の実装領域はn次産業化）



◆学びの方向性

<h3>情報技術から</h3> <p>学びの分野を考えてみる</p> <ul style="list-style-type: none"> ● データサイエンス データに基づく課題発見力 ● プログラミング 考え方、アルゴリズム、最適化 ● 価値の創造 AIによる自動化、データ活用 	<h3>各産業分野</h3> <p>に通じる学び、スキル</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ものづくり分野 ロボティクス、IoTなど ● インフラを支える分野 グリーンインフラ、防災技術等 ● その他の分野 他の教育機関等との連携 	<h3>滋賀・びわ湖</h3> <p>という地域ならではの学び</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 人と自然に寄り添う技術 Society5.0の先の社会 ● 環境へのこだわり CO2ネットゼロをかなえる技術 ● 進取の気性 学び続ける姿勢、行動意欲
--	--	---

学びの方向性

- 「情報技術」を柱に、課題を発見し、価値を生み出す力を養成
- キャリアを考えた育成コースで、多様かつ柔軟な選択肢を提供
- 人と自然に寄り添い、課題の解決に挑む技術者を育成

◆学びの拡がり

<h3>課外授業、留学等</h3> <p>5年という時間を活かす経験</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 各種コンテストへの挑戦 ● 海外留学、文化交流 ● 部活動、地域活動 	<h3>インターンシップ等</h3> <p>地域・社会へのアプローチ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 地域課題を実体験 ● 地元企業と出会う機会 ● より現実に即した実践
<h3>卒業研究</h3> <p>技術やスキルの確立・応用</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ものづくり基礎力の確立 ● 起業へのチャレンジ ● 就職、進学に向けた研究 	<h3>リベラルアーツ</h3> <p>より深くものを考える力、教養</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 年齢に即した文系科目 ● コミュニケーション力 ● 世界的課題への眼差し

